

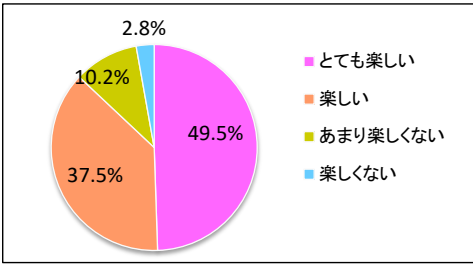
令和6年度後期 児童アンケート(学校生活アンケート)の結果

白井市立南山小学校

○ アンケート実施月 令和7年2月

1 学校は楽しいですか。

	%
とても楽しい	49.5%
楽しい	37.5%
あまり楽しくない	10.2%
楽しくない	2.8%

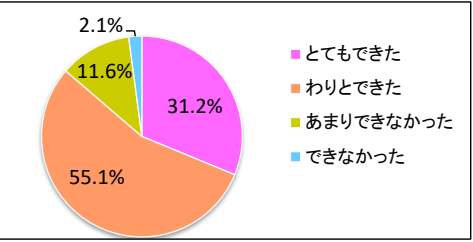


学校が楽しいと感じている児童が全体の87%おります。落ち着いた雰囲気での学習に取り組み、たてわり活動を取り入れた行事により交流の幅が広がっているからこそうと考えております。

しかし、「楽しくない」と回答した児童の割合が約4%増えていることを大きく受けとめ、教職員間の情報共有と関係機関との連携を強化し、どの児童も安心して学べるように教育活動を推進してまいります。

2 学年・学級目標(もくひょう)を意識して生活できましたか。

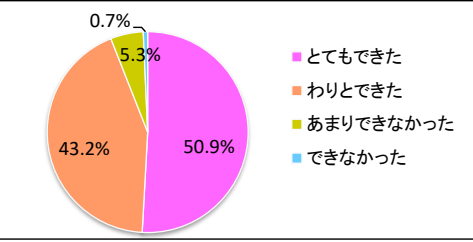
	%
とてもできた	31.2%
わりとできた	55.1%
あまりできなかった	11.6%
できなかった	2.1%



各目標を意識して生活している児童が86%を超えています。児童が目標を意識し、具体的にどうしたらより良い学校生活を送ることができるのか、を自ら考えられるように支援を行っております。何より前期から継続して、保護者の皆様が活動方針をご理解の上、ご家庭でサポートをしてくださっていることが、数値を維持している要因と捉えております。

3 進んで授業に取り組むことができましたか。

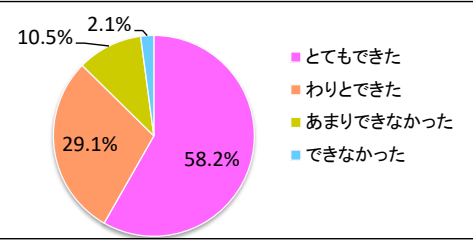
	%
とてもできた	50.9%
わりとできた	43.2%
あまりできなかった	5.3%
できなかった	0.7%



進んで授業に取り組んでいると感じている児童が約94%と高い値を示しております。前期から引き続き、協働による課題解決型学習を行い、伝え合うことで学びを深めるようにしています。児童自身も「わからないことをそのままにせず、周りの人に聞くことができる」ことを実感しており、内発的動機が向上している」と捉えております。否定的な回答をした児童もおりますので、今後も個に応じた支援により学ぶ楽しさを実感できるように授業改善に努めてまいります。

4 進んで運動できましたか。(外遊びも入ります)

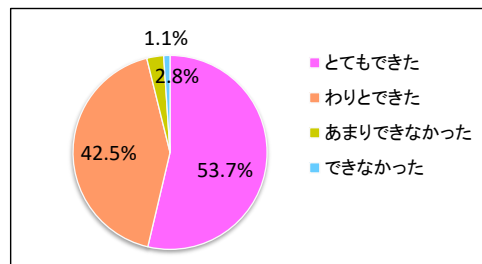
	%
とてもできた	58.2%
わりとできた	29.1%
あまりできなかった	10.5%
できなかった	2.1%



約87%の児童が肯定的な回答をしております。今年度、運動の得意不得意に囚われることなく、自分で目標を設定し、「できた」「がんばった」と達成感を味わえる場面の設定を学校全体で行ってまいりました。その中で、身体を動かすことが楽しいと感じる児童が増えてきたと感じております。今後も、健康な体づくりの推進に努めてまいります。

5 思いやりの気持ちをもって人に接することができましたか。

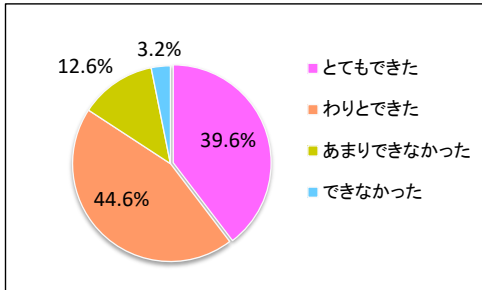
	%
とてもできた	53.7%
わりとできた	42.5%
あまりできなかった	2.8%
できなかった	1.1%



肯定的な回答が児童の96%を超え、高い数値を示しております。たてわり活動の様子からも、上級生が下級生に接する態度が良いお手本になっております。思いやりの気持ちが足りない言動を見かけた時に、児童同士で話をしたり、教職員に相談したりして、すぐに解決しようとする態度も育ってきています。今後も、学校生活での様子を一人ひとりしっかりと見守り、豊かな心を育てるよう努めてまいります。

6 三つ星あいさつができましたか。

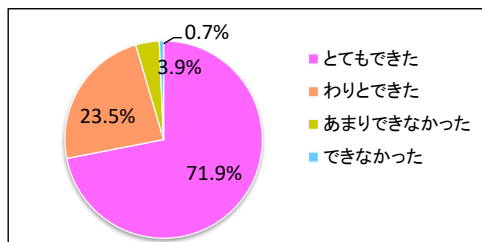
	%
とてもできた	39.6%
わりとできた	44.6%
あまりできなかった	12.6%
できなかった	3.2%



約84%の児童が肯定的な回答をしております。否定的な回答をしている児童の中には、「もっと良いあいさつをしたい」と考えている児童もいるようです。6年生が中心となり始めた「気持ちの良いあいさつができる南山っ子」を推進する活動を、下級生に伝えていけるよう支援していきます。また、登下校時でのあいさつや、来校者へのあいさつも自信を持ってできるよう指導を継続してまいります。

7 くつのかかとをそろえていますか。

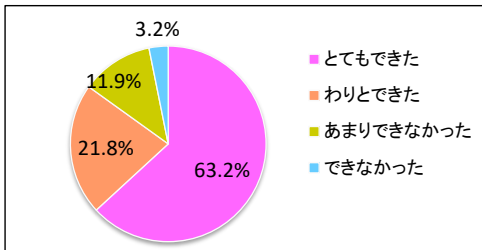
	%
とてもできた	71.9%
わりとできた	23.5%
あまりできなかった	3.9%
できなかった	0.7%



95%以上の児童が肯定的な回答をしており、高い値を示しております。今年度、児童による積極的な推進活動により、「かかとそろえ」は「当たり前のこと」と習慣化しています。このことについて、児童も自覚と自信を持っており、本校の自慢でもあります。次年度も、この習慣が、全校で継続できるように、児童を支援してまいります。

8 家で勉強できましたか。

	%
とてもできた	63.2%
わりとできた	21.8%
あまりできなかった	11.9%
できなかった	3.2%



肯定的な回答は85%です。本校では、授業を通して、児童が学ぶことの楽しさを実感できるよう指導を継続してまいりました。より多くの児童が、授業で得た達成感から「もっと学びたい」「家でも少し考えてみたい」という意欲につながるように、今後も、発達段階に応じて、学習を補ったり、発展的な学習に取り組んだりできるよう指導・支援を行ってまいります。

9 自分で、もっと勉強してみたいと思う教科や学習はどれですか。

全校児童の回答では、体育科が1番多く、全体の28.1%でした。続いて、算数科が21.8%、図画工作科が9.5%、理科が8.1%、国語科が7.0%でした。前期に続き、体育科と答えた児童の割合が高いのは、それぞれが目標を設定して取り組むことにより、児童が達成感と向上心をもつことにつながっているためだと捉えています。

次年度、白井市から学力向上研究校の指定を受け2年目となります。今後も、協働学習の場を設け、児童の能動的な学びにつなげる工夫をしてまいります。